

会議状況等報告書							報告者	小高 清楓			
会議の名称		令和6年度第3回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会									
日 時		令和7年1月29日（水） 午後1時00分～午後2時15分						場所	おおぶ文化交流の杜図書館 サポーター室2		
出席者	委員	松岡 礼子	加古 有子	鈴木 善博	神田 由美	赤堀 路世	竹内 紀人	澤田 智子			
		○	○	○	○	○	○	○			
	事務局	近藤 部長	田中 課長	細谷 係長	小高 主事	村上 図書館長	小倉 マネージャー				
		○	○	○	○	○	○				
傍聴者 0名											
内容											
1. 委員長あいさつ 幼少期には宮沢賢治に親しみを持って育ってきた。大府市では、宮沢賢治が音楽とともに愛されていることを知り嬉しく思う。 2. 議題 令和6年度8月～11月事業実施報告について ※資料1～5に基づき事務局説明 ●第2四半期トピック紹介 ・ 閲覧席での持ち込み学習を控えていただくよう呼びかけを実施した結果、持ち込み学習利用者が減少したが、同時に入館者数も減少した。各班で図書館サービスの周知の方法を検討し、来館者の増加を図っていく。 ・ 世界の絵本作家総覧の反響が大きい。新聞各社や東京のFMラジオから取材や出演の依頼があった。児童図書研究会から発行される機関誌「こどもの図書館」にも掲載していただく予定である。また、東京家政大学の教授からボランティアグループと図書館とのかかわりに関するインタビューの依頼もあった。 ・ 11月に読み放題パックを電子図書館に装備し、吉田小学校で試行導入を開始した。滑り出しは順調で、来年度から市内の全小・中学校で導入することができる見込みである。読み放題パックのコンテンツを充実させるためにこどものための雑誌スポンサー制度について再度検討したい。 ①施設利用状況 ②蔵書貸出統計 ③地区別登録者数、貸出者数											

- ・貸出件数、利用者数は減少傾向にある。一人当たりの貸出冊数が市内よりも市外の方が多いため、総貸出点数を増やすためには、市内の方の貸出利用を促すことが必要であるとする。

④事業実施報告

- ・「みんなで学ぶ防災講座」は能登半島地震や台風等の水害が頻繁に起こっていたことから大府市の危機管理課にお願いをして実現した講座である。応募開始からあっという間に定員に達した。地震時と水害時の対応方法について説明していただいた。
- ・世界の絵本作家総覧の出版記念として、「チェコの絵本に魅せられて」を開催した。チェコでの本との出会いをチェコの魅力と交えてお話しいただいた。木村有子さんには、世界の絵本作家総覧に寄稿していただいた。

⑤発生した事故・ご意見

- ・マナーの悪い中高生は少なくなったものの、大人の利用者のマナーが目立つようになってきた。

●令和7年度の重点項目

【学校連携】

読み放題パックを市内の全小中学生だけではなく、高校生や大学生まで広げたいと考えている。また、大学生の読み聞かせイベント等を行い連携を強めることができればと思う。

【書店との連携】

文部科学省が推奨している地域の書店との連携のこと。雑誌の購入先が滝書店に変更になることから、書店と図書館間でポップやおすすめ本のやり取りを行い、相乗効果を図りながら情報交換を行いたい。さらには、書店で図書を返却できるようにしたり、共同で作家さんを招くイベントを行ったりできたらと思う。

【業務改善】

開館 10 周年を迎え、マンネリ化してきたのではという意見が上がるようになった。図書館の作り方や特集展示の方法、イベント内容等を見直していく。

【意見交換】

(委員) 持ち込み学習を控えるようにしている理由は何があるのか。

(館長) 学習室がアローブの施設として別にあるので、閲覧席での学習は控えていただくようお願いしている。閲覧席は本を読むための席として用意してある。

(委員) 中高生に来館してほしいのであれば、その子たちが過ごせるような場所を用意してみてもどうか。

(委員) 図書館の中の展示室はコロナ前は学習室であったが、コロナの感染拡大予防の理由から展示室になったと認識している。改めて学習室として開放するのはどうか。

(館長) 学習室として開放しても座ることができなかった利用者が再び閲覧席に流れる可能性がある。また、コロナが収まったが、換気できる部屋ではないため、設備投資を行わなくてはならない。

(委員) アローブの自習室に予約システムが導入される前は、席を確保するために2時間前から利用者が並ぶ姿が見受けられた。展示室を学習室として開放すると同じことが起こりそうで不安である。

(委員) 学生の利用が多いのは平日か休日か。

(図書館職員) 試験中が多い。学生が閲覧席を独占しているため、本を読みに来た利用者は、肩身の狭い思いをして過ごしていらっしゃる。学生でも利用してくださるのありがたいことではあるが、閲覧席は本を読むための席として用意してあるため、控えていただきたい。

(委員) 土日か平日か聞いたのは、平日に多いなら学校開放を依頼することができたらいいなと考えたためである。

(館長) 市内の中学校なら目星が付くが、高校以上となると、市外に通っている学生も多いため難しい。

(委員) まなびサポートのような勉強できる場の紹介を行うことで学生の力になることができるのではないかな。

(図書館職員) 公民館への案内はしている。

(委員) 周知の結果、公民館を利用する学生は見受けられる。しかし、図書館の居心地が良いのか集まってしまう。

(委員長) この件については根が深い問題だと考えている。子どもを追い出すという形ではなく、社会教育として図書館の使い方を浸透させることが大切である。今後も皆さんのご意見を賜りながら改善していけたらと思う。

(委員) 児童センターで子どもの意見を聞く場が設けられていると耳にした。図書館でも子どもの意見を参考にし、図書館づくりを進めることができれば自分が関わった施設として愛着が沸くのではないかな。

(委員) 魅力的な特集には、つい一冊追加で借りてしまうという効果がある。特集を組むために、幼年童話のリストは作成した。しかし、児童書とYA分野のすべての本に目を通してリスト化することがなかなかできずにいる。そこで本を読まなくなる世代へのアプローチとして、学生のおすすめ本の紹介やPOPの作成を学校連携の一環で依頼するのはどうか。

(委員) 高校生が選ぶ本の大賞のようなことができれば面白いと思う。

3. その他

●令和7年度図書館視察候補の決定

第一希望：みんなの森ぎふメディアコスモス

第二希望：豊橋まちなか図書館

【次回開催連絡】

令和7年度第1回おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会

日程：令和7年5～6月開催予定

場所：おおぶ文化交流の杜

以上